

問1 企業の責任や消費者の生活習慣が問われる中、資源を循環させる具体的な活動が普及しています。空になった洗剤の容器を捨てずに中身を詰め替えて再度利用したり、不用品をフリーマーケットやリサイクルショップで他人に譲ったりする活動に共通する、3Rの考え方はどれですか。

(2017年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. リデュース | 2. リサイクル | 3. バイオマス | 4. リユース |
|----------|----------|----------|---------|

問2 吉野作造が「民本主義」という用語を用いて、政治に民衆の意思を反映させようとする考え方を広めた背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2021年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 世界恐慌の影響で経済が混乱し、政府による強力な経済統制が求められたため | 2. 日露戦争の勝利により、国民の間に軍事的な拡大を支持する声が高まったため | 3. 大正時代の社会において、憲法の枠内で民主主義的な要求を正当化するため | 4. 明治維新直後において、欧米の思想を急速に取り入れる必要があったため |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|

問3 市場において生産技術の革新が起こり、同じ価格でも以前より多くの商品を供給できるようになった際、市場ではどのような変化が起きると考えられるか。その過程と結果について述べたものとして最も適切なものを選択してください。

(2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 需要量と供給量が同時に減少するため、市場規模が縮小し、価格は変動しない。 | 2. 供給量が増加するが、価格が高くなることで需要が抑制され、取引量は以前よりも減少する。 | 3. 供給量が増加して超過供給（売れ残り）が生じるため、価格が下落し、新たな均衡価格が形成される。 | 4. 需要量が増加して超過需要（品不足）が生じるため、価格が上昇し、新たな均衡価格が形成される。 |
|---|---|---|--|

問4 市場経済において、需要曲線そのものが左右に移動（シフト）する要因として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。

(類似)

- | | | | |
|------------------------------------|--|---|-------------------------------------|
| 1. 競合する他社が倒産したため、市場に流通する商品の総数が減少した | 2. テレビ番組などの影響により、その商品に対する消費者の好感度が大きく上昇した | 3. 新技術の導入によって生産効率が上がリ、以前よりも安く大量に生産できるようになった | 4. 商品の原材料価格が高騰したため、企業が商品の販売価格を引き上げた |
|------------------------------------|--|---|-------------------------------------|

問5 地球温暖化を抑制するための国際的な枠組みであるパリ協定に基づき、日本が掲げている温室効果ガスの削減目標について、その主な対象物質と目標の内容を説明したもののとして最も適切なものはどれか。

(2026年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. フロンガスを主な対象とし、2030年度までにオゾン層を完全に回復させる目標を掲げている | 2. 硫酸酸化物を主な対象とし、2030年度までに酸性雨による被害をゼロにする目標を掲げている | 3. 二酸化炭素の排出量を現状のまま維持し、経済成長を最優先する目標を掲げている | 4. 二酸化炭素を主な対象とし、2030年度に向けて排出量を大幅に削減する目標を掲げている |
|--|---|--|---|

問6 外国為替市場において、それまで1ドルを交換するのに90円を必要としていた状態から、100円を必要とする状態に変化した。このように、外国の通貨に対して日本円の価値が低くなる現象を何というか。

(2018年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| 1. デフレーション | 2. 円高 | 3. インフレーション | 4. 円安 |
|------------|-------|-------------|-------|

問7 日本の歴史における稲作技術と農業制度の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2018年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 鎌倉時代から室町時代にかけて、肥料の改良や水車の活用により、同じ田で一年に二種類の作物を作る三毛作が全国に広まった。 | 2. 弥生時代には石包丁を用いて稲の穂の部分を摘み取る収穫が行われていたが、のちに鉄製の鎌が普及すると根元から刈り取る形へと変化した。 | 3. 江戸時代には幕府によって新田開発が厳しく制限されたため、千歯扱きなどの新しい農具は主に自給自足のために用いられた。 | 4. 律令制度のもとでは口分田が農民に与えられたが、農業技術が未熟だったため、税として収穫した稲を納める義務は存在しなかった。 |
|---|---|--|---|

問8 茨城県や千葉県などの関東地方では、東京などの大消費地に近い立地を生かした農業が盛んです。この農業形態が、消費地に近い場所で行われる理由として最も適切なものはどれですか。

(2017年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 広大な土地を確保しやすいため、大規模な機械化による大量生産が可能だから | 2. 冬でも温暖な気候を利用することで、他の地域より出荷時期を早められるから | 3. 夏の冷涼な気候を利用することで、他の地域で不足する時期に出荷できるから | 4. 市場までの距離が近いいため、鮮度が重視される野菜などを迅速に出荷できるから |
|--|--|--|--|

問9 1853年の開国以降、日本は急速な近代化を目指しました。明治政府がフランスの技術を導入して設立した官営模範工場で、後に世界遺産にも登録された施設の名称を選択してください。

(2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|------------|----------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 芝浦製作所 | 3. 三菱長崎造船所 | 4. 富岡製糸場 |
|----------|----------|------------|----------|

問10 1960年から2010年代後半にかけての日本の貿易額と品目別割合の変化を記した資料において、輸出総額が飛躍的に増加する中で、輸出の中心が繊維製品などの軽工業製品から移り変わった、現在最も大きな割合を占める品目の分類として適切なものを選びなさい。

(2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 機械類 | 2. 食料品 | 3. 原料品 | 4. 繊維製品 |
|--------|--------|--------|---------|

問11 野菜の市場において、天候不順によりトマトの入荷量が例年に比べて大幅に減少しましたが、消費者が欲しがる量は変わりませんでした。このときのトマトの市場価格の変化と、その背景にある需要・供給の関係について述べたものを選びなさい。

(2015年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 需要量が供給量を下回るため、価格が上昇する | 2. 供給量が需要量を上回るため、価格が下落する | 3. 需要量が供給量を上回るため、価格が上昇する | 4. 供給量が需要量を下回るため、価格が下落する |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|

問12 企業が社会的責任（CSR）を果たす上で、その土台となる考え方についての説明として最も適切なものはどれですか。

(2019年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 短期的な利潤を最大化するために、環境対策などのコストを削減すること。 | 2. 独占禁止法を遵守し、他社との価格カルテルを結んで市場を安定させること。 | 3. コンプライアンス（法令遵守）を徹底し、社会の一員として公明正大な活動を行うこと。 | 4. 市場における占有率を高めるために、他社と合併して独占的な地位を築くこと。 |
|---------------------------------------|--|---|---|

問13 銀行などの金融機関が、家計などの預金者から集めた資金を、自らの責任で企業などの借り手に貸し出す金融の仕組みを何といいますか。

(2026年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 証券取引 | 2. 公開市場操作 | 3. 直接金融 | 4. 間接金融 |
|---------|-----------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 リユース	一度使用された製品を、廃棄せずにそのままの形で繰り返し使うことが「リユース」の特徴です。これに対し、製品を一度砕いたり溶かしたりして、別の製品の原材料として再利用することは「リサイクル」と呼ばれます。詰め替え容器の利用や中古品の活用は、エネルギーをかけて再生する前段階の「そのまま使う」取り組みであるため、リユースに該当します。
問2	答え 3 大正時代の社会において、憲法の枠内で民主主義的な要求を正当化するため	当時の大日本帝国憲法では主権は天皇にあるとされていたため、西洋の「デモクラシー（民主主義）」をそのまま翻訳すると、主権の所在を巡って法的な対立が生じる恐れがありました。吉野作造は、主権の所在は問わずに「政治の運用方法」として民衆の意向を尊重することを説くことで、現行の憲法体制と矛盾させることなく、民主主義的な改革を求める運動を正当化しようとした。
問3	答え 3 供給量が増加して超過供給（売れ残り）が生じるため、価格が下落し、新たな均衡価格が形成される。	技術革新は生産コストの低下や効率化をもたらし、供給量の増加を招きます。同じ価格のままでは供給が需要を上回る「超過供給」の状態となり、売り手は在庫を減らすために価格を下げようとします。その結果、価格の下落に伴って需要量が増え、供給量と一致する新たな低い価格（均衡価格）に落ち着きます。
問4	答え 2 テレビ番組などの影響により、その商品に対する消費者の好感度が大きく上昇した	需要曲線のシフトは、商品の価格そのものが変化したことによる「需要量の変化」ではなく、価格以外の要因（所得、流行、関連商品の価格など）で消費者の欲求が変化した際に起こります。消費者の好感度や流行は需要を変化させる要因ですが、生産技術や原材料価格、流通量は供給曲線を移動させる要因であるため区別が必要です。
問5	答え 4 二酸化炭素を主な対象とし、2030年度に向けて排出量を大幅に削減する目標を掲げている	パリ協定は、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2度未満に抑えることを目的とした国際的な合意です。日本はこの協定に基づき、温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の排出量を、2030年度までに2013年度比で46%削減するという高い目標を掲げています。フロンガスはオゾン層破壊、硫酸酸化物は酸性雨の主な原因物質であり、地球温暖化の直接的な主因とされる二酸化炭素とは区別して理解する必要があります。
問6	答え 4 円安	1ドルを交換するために必要な日本円が90円から100円に増えるということは、それだけ1円あたりの価値が下がり、ドルの価値が上がったことを意味します。この状態を「円安」と呼びます。逆に、必要な円の額が少なくなる（1ドル＝80円などになる）ことを「円高」と呼びます。
問7	答え 2 弥生時代には石包丁を用いて稲の穂の部分の摘み取る収穫が行われていたが、のちに鉄製の鎌が普及すると根元から刈り取る形へと変化した。	弥生時代の初期には、石包丁を使って穂先だけを切り取る「穂首刈り」が行われていましたが、鉄器の普及とともに効率的な根刈りへと移行しました。律令制下の「租」は収穫した稲を納める税であり、中世に広まったのは「二毛作」です。また、江戸時代は幕府や藩が積極的に新田開発を奨励し、千歯扱きなどの農具によって生産力が向上しました。
問8	答え 4 市場までの距離が近いこと、鮮度が重視される野菜などを迅速に出荷できるから	大都市の周辺で行われる近郊農業は、市場（消費地）までの輸送距離が短いことが最大の特徴です。これにより、収穫から店頭まで並ぶまでの時間を短縮できるため、新鮮さが求められる葉物野菜などの栽培に適しています。冬の温暖な気候を利用するのは高知県などの促成栽培、夏の冷涼な気候を利用するのは長野県などの高冷地農業の説明です。
問9	答え 4 富岡製糸場	1872年、明治政府は殖産興業の一環として群馬県に富岡製糸場を設立しました。フランスから技師や機械を招き、全国から集まった工女たちに技術を習得させることで、日本全体の製糸技術の向上を図りました。八幡製鉄所は日清戦争後の下関条約による賠償金をもとに建設された鉄鋼工場であり、設立時期や目的が異なります。
問10	答え 1 機械類	高度経済成長期を経て、日本の産業構造は軽工業から重化学工業へと転換しました。これに伴い、貿易品目も繊維製品中心から、自動車や半導体、精密機械などの高度な技術を要する「機械類」へと移行しました。このように輸出の中心がより付加価値の高い工業製品へ移ることを「貿易品目の高度化」と呼びます。
問11	答え 3 需要量が供給量を上回るため、価格が上昇する	トマトの入荷量（供給量）が減少したのに対し、消費者の欲しが量（需要量）が変わらない場合、市場では「需要量＞供給量」の状態になります。このとき、商品は不足気味となり、より高い代金を支払っても購入したいという動きが強まるため、価格の上昇を招くことになります。
問12	答え 3 コンプライアンス（法令遵守）を徹底し、社会の一員として公明正大な活動を行うこと。	企業が社会的な信頼を得るためには、法律を守るだけでなく、倫理や社会的規範に従って活動する「コンプライアンス（法令遵守）」が不可欠です。不祥事を防ぎ、消費者の安全や環境を守ることは、結果として企業の長期的な発展にもつながります。利益第一主義による不正は、CSRの考え方に反するものです。
問13	答え 4 間接金融	資金の出し手（預金者）と借り手（企業など）の間に、銀行などの金融機関が仲介者として入る仕組みです。金融機関が自らの責任で資金を運用するため、借り手が返済できなくなった場合のリスクも金融機関が負うことになります。これに対し、企業が発行する株式などを投資家が直接購入する仕組みは直接金融と呼ばれます。